

情報通信ベンチャー支援センター

[トップ](#) |
 [NICTの支援](#) |
 [NICTのイベント](#) |
 [経営・技術](#) |
 [イベント・助成](#) |
 [連載・コラム](#)

[トップ](#) >
 [連載・コラム](#) >
 [注目のベンチャー紹介](#) >
 Soulmates Inter...

[← prev](#) |
 [next →](#) |
 [up ↕](#)

Soulmates Interactive. 代表取締役 藤吉 功光 氏 ～平成23年度情報通信ベンチャービジネスプラン発表会 発表企業～



Soulmates Interactive.は、デジタル写真アルバム制作サービスと「PhotoBook Kit」を開発、提供しています。

「PhotoBook Kit」は、オリジナルiPhoneアプリで、操作は簡単。直観的な操作でデジタルフォトブック(写真アルバム)を作ることが出来ます。旅行や記念日、絵本などの「ストーリー」をテーマにそっと見せることができるので、クリエイティブな気分で家族や友人と楽しむことが出来ます。「PhotoBook Kit」バージョン2では、共有も可能にできるよう計画中で、より深いコミュニケーションツールになることを目指しています。

<氏名> 藤吉 功光氏

<社名> Soulmates

Interactive.

<役職> 代表取締役

<設立> 2009年4月

<資本金>

<URL>

<http://soulmatesinteractive.jp/>

1. 初めに



藤吉氏

第14回(平成23年度)NICT情報通信ベンチャービジネスプラン発表会で発表された「PhotoBook Kit」デジタル写真アルバムアプリを展開しているSoulmates Interactive. 藤吉功光(フジヨシ イサミツ)さんにお話しをお聞きしました。中部圏のIT拠点で、人材育成・産業の高度化・新サービス創出支援を行っている、岐阜県大垣市にある財団法人 ソフトピア日本の推薦を受けて、今回のビジネスプラン発表会に岐阜県代表として参加。斬新なデザインとアイデアで、オリジナルiPhoneアプリ、「PhotoBook Kit」を開発・提供しています。今回は岐阜県発、ICTベンチャーの魅力をお届けします。

2. 【ICT拠点ソフトピアジャパンからチャンスをつかむ】

(聞き手)NICTベンチャービジネスプラン発表会に岐阜県代表で参加された経緯についてお聞きできればと思います。

(藤吉氏) 今回の発表会の募集の案内をソフトピアジャパンさんから頂きました。ちょうど、弊社で開発しているiPhoneアプリ、「PhotoBook Kit」のバージョン2の開発をしたいと言うタイミングだったので、この発表会がビジネスの展開につながればと思い、応募しました。

(聞き手)岐阜県の代表に選ばれた、「PhotoBook Kit」のアイデアは、どのようにして生まれたのでしょうか？

(藤吉氏)「PhotoBook Kit」は嫁が子供の写真を集めて、実際のフォトブックを作っていたのを見て、同じことをiPhoneで、できたら素敵だと思ってのきっかけです。ただ、私自身は企画デザインはできるのですが、プログラムはできません。以前は東京のデザイン事務所にいたのですが、その後、実家のある岐阜県大垣に戻って来てSoulmates Interactive.をソフトピアジャパン内に立ち上げ、仕事をしています。ソフトピアジャパンさんの企画

で、iPhoneアプリ事業の勉強会や交流会に参加させて頂き、その際、iPhoneアプリの開発者さんをはじめ色々な方と出会ったことがきっかけで、今回の「PhotoBook Kit」アプリが開発できました。



オフィス前の藤吉氏

3. 【才能の開花は、Mac好きから始まった】

(藤吉氏) 卒業後は、電子楽器メーカーに入社し、電子楽器(シンセサイザー・サンプラーなど)の開発を行っていました。当時から音楽が好きで、趣味でMacを使って、打ち込みで作曲をしていました。今から約20年近く前のことになりましたが、その頃のMacはとても高価で1台モニター込みで約70万円しましたが、どうしても欲しくて、自分にとっては、「車を買うか」「Macを買うか」と迷ったのですが、自分で働いて貯めたお金でMacを買いました。

(聞き手) Macとの出会いは現在のお仕事につながり、才能を開花するきっかけそのものですね。

(藤吉氏) 購入した時期はちょうど画面がカラーになった頃でした。当時のMacはシーケンサー(ミュージックシーケンサー)の機能が、他の機種よりも良かった事も魅かれた理由のひとつでしたが、せっかくカラー画面になったのに、作曲の為にシーケンサー画面が白黒だったので、使いこなせていない事をもったいないと感じて、色のきれいなデザインにも関心を持ち始めました。私は音楽が好きで、当時はDJクラブで流せるような音楽を自主制作し、レコードも作っていました。その頃のバンド名が「ソウルメイツ」だったので、現在の社名の原型となっています。クラブに行くと、イベントのチラシを目にする機会があったのですが、「自分のMacを使えばそのデザインも作れる！」と考えて、夢中で作り始めました。

(聞き手) イベント告知のチラシを20代でMacを使って製作開始されたのですね。当時は、アルバイトで作っていたのですか？

(藤吉氏) 無料で作っていました(笑)。音楽作りもチラシ作りも、とにかく楽しかったです。クラブでのイベントは、1年に3回くらいありましたが、趣味として、2~3年続けていました。昼間は仕事をしていたので、1つのデザインを約1週間かけて夜、作っていました。印刷物の知識が無かったので、試行錯誤しながら、また友人に設定方法などを教えてもらいながら、実際に作る事でノウハウを習得していきました。

(聞き手) 藤吉さんのデザイン力は、Macを手にした事で身に付けられた独自のノウハウだったのですね。

(藤吉氏) 例えば、ピチカートファイブさんのCDデザインなどを手掛けている信藤三雄さんのデザインが好きで、当時からCDジャケットにとっても興味がありました。ジャケットデザインに憧れて自分でもデザインの世界にのめりこんでいきました。

(聞き手) 音楽とデザインと言うクリエイティブな仕事への興味・関心の高さはお話を聞いているとよくわかるのですが、まだまだ使いづらい時代のコンピュータでも得意だったようですね。

(藤吉氏) 私がMacを購入したのは、Windows95が世の中に出る前でしたが、当時のものはマウスで操作するGUIがとても優れていたのでもっとも使い心地が良かったです。元々工業高校の電子科出身なので、高校時代にプログラムを習っていたことも影響しています。卒業研究ではコンパイラ*の作成に挑戦して作成しました。



インタビュー風景

4. 【ウェブデザイナーとしてプロの世界へ】

(聞き手)好きなことを続けることで、ウェブデザイナーとしてプロフェッショナルの世界を着々と築いてこられたんですね。

(藤吉氏)Macを使ったデザインの仕事をしようと考えて、電子楽器メーカーを辞めて実家に帰ってきました。約15年前当時、ちょうどインターネットが大学に普及し始めた頃で、大学生の兄の影響で、ホームページをはじめて目にしてインターネットの面白さを知りました。その頃のHPは、現在のようにCSSやテーブルでデザインが組まれておらず、画像が並べられて、文字テキストがリンクされただけのもので、デザインは洗練されていませんでしたが、それを見た時、「これはとても面白い。WEBデザインだったら自分にも出来る！コンピュータの裏の仕組みもある程度分かる」と、感動したことを覚えています。普通のデザイン会社では飽き足らず、名古屋のWEBデザイン会社に入り約4年勤めました。WEBデザインが普及し始めた頃なので、CSS(スタイルシート)でのレイアウトも無い頃でした。ホームページ製作については世の中でもまだまだ確立したものが無い時代でしたね。その頃は海外のWEBでソースを見て仕組みを吸収して勉強していました。

(聞き手)はじめてインターネットを私達が手にした頃ですね。世の中のWEBデザインの進化と共に、独学で勉強なさっていたんですね。その頃の作品についてもご紹介して頂けますか？

(藤吉氏)おもに企業のウェブサイトを作っていました。最後は、私のデザインを指名して下さるお客様もいました。すべて一からやらなければならない時代でしたが、作りながらゆっくりに覚えていくことが出来たので、逆に良かった面もあると思います。

5. 【App Storeのおすすめアプリを次々に開発】

(聞き手)フリーのWEBデザイナーとして11年になるとお聞きしていますが、ソフトピアジャパンを拠点に選ばれた経緯を教えてください。

(藤吉氏)もともと自分でやりたい！という思いがあったので、名古屋の会社も修行の為と考えて働きました。名古屋の会社を辞めて一端、ソフトピアに戻り、約8年フリーでWEBデザインの仕事をしていたのですが、その後、デザイン性を高めたいと考えて、東京のデザイン事務所に入り約2年働き、その後、岐阜に戻り、独立してフリーのウェブデザイナーになりました。ちょうどソフトピアジャパンで、モバイルコア*と言うスマートフォンプロジェクト(iPhoneなどの開発講座)が始まった頃で、講座内容に興味を持ち、ネット環境が整っていて、引越し翌日から仕事出来る環境の良さに、再び同じお部屋に戻って仕事を開始しました。

(聞き手)現在はどのような体制でお仕事なさっているのでしょうか？

(藤吉氏) 情報科学芸術大学院大学(IAMAS)の卒業生の方が、ひとり手伝ってくれていますので2人で仕事しています。

(聞き手)アプリの開発はどのように始められたのでしょうか？

(藤吉氏)モバイルコアでiPhoneアプリを共同で作るグループワークに参加した事がきっかけで、作り始めました。最初

はおみくじのアプリを作りましたが、普通におみくじをひくだけでは面白くないので、おみくじスクラッチと言うアイデアと、こするとおみくじの内容が出てくる楽しい仕掛けにしました。

(聞き手)おみくじを振るとチャリーンと可愛い音がして、こする音もリアリティがありますね！デザインとそれに合う音が特徴的です。

(藤吉氏)私はデザインとアイデアを担当して、技術・文章等の作成はそれぞれ別の方に、担当してもらいました。無料ダウンロードアプリですが、色々な場面で記事として取り上げて頂いた事をきっかけに、約5万を超えるダウンロード数になり、無料アプリランキングでも最高時は30位以内に入る事が出来て、「これは面白い！」と感じ、自分の作ったものが世の中に出て、使ってくれる事が嬉しくて現在の開発につながっています。モバイルは持ち運べるサイズで、画面が小さく、手で触れるのでボタンの大きさや配置などを考えてレイアウトしています。現在は4種類のアプリを開発しています。神経衰弱ゲーム「干支あわせ」は有料アプリですが、230円でダウンロードできます。現時点では約3000ダウンロード数となっています。アプリ作りはアイデアがもっとも重要です。3つ目に製作したアプリが、今回の「PhotoBook Kit」です。



作業風景

6. 【PhotoBook Kitでより深いコミュニケーションを実現したい】

(聞き手)藤吉さんの撮影した写真がとても素敵なので写真アルバムも本当に感動的ですね。特徴をご紹介していただけますか？

(藤吉氏)自分で撮った写真だけではなく、写真アルバムにある画像は全て取り扱うことができます。トリミング等の編集、テキストや吹き出しの追加などのできる、幅広いオリジナルのフォトブックが作成できます。デジタルフォトブックは1冊24ページまで作成可能です。制作したデジタルフォトブックは、iPhone/iPod touchのホーム画面にアイコンとして表示することができ、まるで一つのアプリのように起動させることができます。テーマにそった見せたい画像だけを見せることができるので、知人や友人と楽しむことができます。指先を使った簡単な操作で、デザイナーのように写真をトリミング(切り抜き)、配置できるので、ひとあじ違った写真ページを作ることができます。メニューも絵が多いので、少し触ると直感的に理解できるように工夫しました。

(聞き手)ビジネスモデルについて教えてください。

(藤吉氏)現在は約13000ダウンロード数がありますが、有料で230円です。Appleには3割の代理店手数料を支払い、残りの売上が毎月振り込まれますが、月15000円以上に到達しなければ繰り越されますが、それ以上売り上げがあれば毎月収入が入ると言うモデルです。4本目のアプリは、岐阜県に住むブラジル人の為の「ブラジルGIFU」と言うiPhoneアプリですが、これは無料アプリで、開発費をいただくモデルです。

(聞き手)今後の目標を教えてください。

(藤吉氏)「PhotoBook Kit」のバージョン2では、iPhoneの簡単かつ直感的な操作でデジタルフォトブックが制作でき、友人や家族などと共有できるサービスを目指しています。iPhoneアプリとして展開している写真共有アプリはいくつかありますが、フォトブック(=写真アルバム)を共有するアプリは、私の知る限り存在しません。フォトブッケー一冊一冊には、旅行や記念日などのストーリーが込められていて、「ストーリー」を友人関係で共有するという点で、一枚の写真をただ公開する既存のサービスとは異なり、より深いコミュニケーションツールとなるのではないかと考えています。アプリダウンロードによる売り上げと、共有するフォトブックの数に応じて課金する仕組みで収益を得たいと考えています。友人から共有されたフォトブックを閲覧する機能に限定した無料版アプリも展開することで、ユーザー数を増やし、有料版購入へと促したいと考えています。

7.【支援者紹介】

ベンチャー企業を支援している財団法人 ソフトピアジャパン 事業連携課 課長 太田 秀昭氏にベンチャー支援の胸の内をお聞きました。



太田氏

(聞き手)ソフトピアジャパンについて教えてくださいか？

(太田氏)ここはITを基地とした産業団地で、今はスマートフォンをキーワードに色々な活動をしています。岐阜県のプロジェクトで、地域活性化のためにITをテーマに1996年にオープンしました。ドリームコアと言われるベンチャールームが出来てから12年になります。安い賃料で入居できる期間は3年で、その後は少しずつ賃料が高くなる仕組みです。ベンチャー支援の一貫で、これまで約300社が利用しています。

(聞き手)具体的な支援の取組みについてご紹介いただけますか？

(太田氏)ベンチャー企業に対しては、展示会や学会に出展する際の資金的な支援である販路開拓支援と、様々な相談に対応するアドバイザー派遣事業を行っています。仕事が欲しいと言われても直接的な仕事を発注できる訳ではありませんが、企業さんからの問い合わせによる、企業マッチングや、公的機関の紹介も行っています。

(聞き手)事業の一番の目的について教えてください。

(太田氏)ずばり地元で雇用を生み出すことです。ここには、退職された方で技術を持った方や若い方などが多くいらっしゃいます。業務系システム、セカイカメラ、iPadのピアノアプリ、フィンガーピアノなどで成功されているケースがあります。

(聞き手)最近のIT支援の傾向についてご紹介していただけますか？

(太田氏)商品やサービスの販促の為に、出展の補助支援があるのですが、以前は展示会などでもソフトピアがブースを借りて出展し、ベンチャー企業が何社か店子で出ると言うことが多かったのですが、最近では事業の関心分野が多様化しているので、何社かまとめて展示会に出ると言うことがなくなってきています。IT総合ではなく、たとえば医療の展示会にITのシステムを出展したいなど、細分化して企業のニーズが出てきているので、1社ごとへの支援に変化しています。

(聞き手)1年間で支援する金額の上限はあるのでしょうか？

(太田氏)30万です。書類審査で、支援を決定しています。お金や人などの資源が限られている中では、企業さんと一緒にリソースを持ち寄り、例えば、勉強会・意見交換会・合同セミナーなどを企画して、共有する仕組みが今後は益々必要だと考えています。

(聞き手)ところで太田様のこれまでのご経歴を教えてくださいませんか？また企業への支援にあたっての思い、そして応援メッセージを頂けますか？

(太田氏)私はサービス業のシステム部門出身で、地域の情報化に貢献したいと考えて、16年前にソフトピアジャパンに参りました。これまでは主に地域の情報化に関わってきました。セキュリティ人材育成などを担当し、現在は、企業の

支援や、人材育成などを担当しています。私は基本的にはイベント屋さんで、イベント等を通じて様々な情報を皆さんにお伝えすることや、企業の情報を紹介することによる企業マッチングを行ってきましたので、人と人のコーディネーターと言えるのかもしれませんが。

現代のIT人材のお一人として、藤吉さんに注目しています。岐阜県大垣市は水都と呼ばれる地下水が豊富な場所で元々は繊維産業の盛んなエリアでしたが、繊維産業の次の産業を育てる必要があると考えて、ITに注目し、岐阜県として大きく舵を切りました。

ソフトピアジャパンの企業さんにはソフトウェアジャパンで、成功をつかんで、次のベンチャー育成等の企業支援に協力していただければと願います。ソフトピアジャパンエリアで働いていることが、ステータスになること、それはベンチャー企業さんの成功にかかっています。



藤吉氏、支援者太田氏・堀川氏

8. 【取材後記】

藤吉さんのスマホで「PhotoBook Kit」を使ったデジタルフォトアルバムを拝見させて頂いたのですが、現在小学生の息子さんの幼い頃の写真や、パリでの美しい風景、そして書き込まれたテキストは、まるで本屋さんに売られている写真集のように完成度が高く美しいものでした。デザイナーとして、大切になさっていることとお聞きすると、「あっと、驚きがあること」、「楽しい気分になるよう感じられること」を目指しているとの事でした。ユーザビリティを考え、ご自身でも触りながら、クオリティを追求していくこだわりは、よりよいものを創る為に、常に古いものを捨てて新しいものを取り入れていく柔軟性につながっていると言えるのかもしれませんが。使う人を笑顔にするデザインとアイデアを生み出す藤吉さんワールドのアプリ、皆さんもぜひ試してみてくださいはいかがでしょうか。

(アプリのダウンロードはこちらから)

「PhotoBook Kit」 <http://soulmatesinteractive.jp/photobookkit/index.html>

干支あわせ <http://soulmatesinteractive.jp/etoawase/index.html>

ブラジル・ギフトネット http://www.gifu-news.com/iphone/index_jp.html

(参考)

* コンパイラ・・・特定のプログラミング言語で記述されたソースコードを読み込み、ターゲットとなるコンピュータが直接実行できる命令語に変換するソフトウェアのこと。

* ドリームコア・・・ソフトピアジャパン内にある、国際インキュベーターセンターのこと。

<http://www.softopia.info/nyukyo/dream01.html>

* モバイルコア・・・Mobilecore(モバイルコア)は岐阜県、(財)ソフトピアジャパ、IAMASの3つの組織から成るプロジェクト。

<http://mobilecore.net/about/>

◆平成23年度情報通信ベンチャービジネスプラン発表会のリンク先

http://www.venture.nict.go.jp/event/node_3774/node_37590/node_37108/node_37431/node_37511

• [支援センターについて](#) • [ヘルプ](#) • [サイトマップ](#)

Copyright (C) 2006-2015 National Institute of Information and Communications Technology. All rights reserved.